

SDGs 達成に向けた取り組み紹介

東和フードサービス株式会社では、SDGs(持続可能な開発目標)達成に向けて様々な事業に取り組んでおります。2019年12月より新たに「食品リサイクル」にも取り組んでおり、その事業について、一般社団法人日本SDGs協会より「SDGs事業認定」を受けましたので、紹介させていただきます。



【取り組み：食品リサイクル】



日本SDGs協会認定
RESPONSIBLE CONSUMPTION
AND PRODUCTION

東和フードサービス株式会社は、持続可能な開発目標を支援しています。

■目標

SDGs 12 「つくる責任、つかう責任」／ターゲット 5

2030年までに、廃棄物の発生防止、削減、再生利用及び再利用により、廃棄物の発生を大量に削減する。

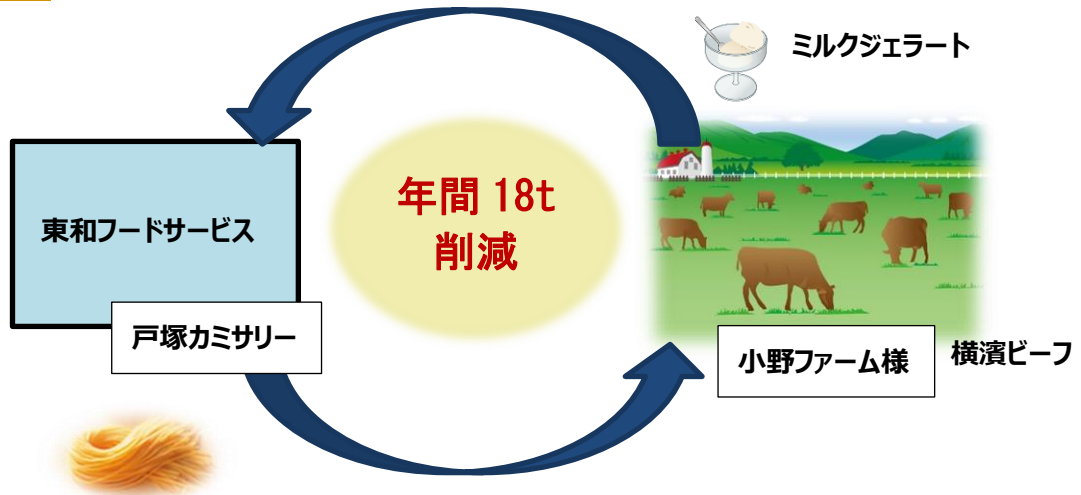
■食品リサイクル概要

戸塚カミサリー(弊社工場)にて製造している無添加の生麺製造過程において、発生した端材が月間平均約1,500kgあり、横浜市にて産業廃棄物として処分していました。株式会社小野ファーム様と契約締結し、2019年12月より、この生麺の端材を株式会社小野ファーム様の「横濱ビーフ」の飼料として提供しております。食品リサイクルに取り組むことで、年間約18トンもの廃棄物を削減、2030年までに約180トンの食糧廃棄物削減が可能となります。また、弊社としても年間約180万円のコストをかけて処理していた廃棄物を、無償で飼料として提供することによって収益率の向上も図ることが出来、企業としての成長も見込めます。



「つくる責任 つかう責任」

弊社食品リサイクルイメージ図



弊社では、食品ロスを削減するだけでなく、弊社の生パスタを食べて育った牛から採れた牛乳で製造されたミルクジェラート等を店舗にて提供することとなりました。**2月21日(金)**～**イタリアンダイニング DoNA 全店にてお召し上がり頂けます。**是非ご賞味ください！

【2月21日～ 春フェアスタート♪】



- ・横浜ミルク工房 ミルクジェラート
- ・横浜ミルク工房 ミルクジェラート使用 アフォガード

近年、飲食・食品業界において大きな問題となっている食品ロス。食品リサイクルをはじめ、今後も様々な活動を通して社会に貢献出来るよう邁進して参りますので、何卒宜しくお願ひ致します。

以上